

いよいよ明日は卒業式。3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。今号は3年生のホームルーム活動を振り返り、3年生へ送る最後の便りしたいと思います。

◎ 「結婚差別」から考える～「話してくれてありがとう」～

2月2日（水）に3年生各クラスで部落差別の現実について学習しました。たとえば大田市における調査等でも、「家族の結婚相手が被差別部落の出身だと分かたら結婚に反対する」と回答する人が一定数いたり、全国的にも「差別に直面して結婚を断念する」事例が報告されたりと、現代においても「結婚差別」が後を絶ちません。



そのような「現実」に対して、生徒の皆さんからは「驚いた」という感想が多く寄せられました。身近に差別が感じられないという理由で‘良し’とするのではなく、「正しい知識・認識」によって差別の実態を知る必要があることを、再認識できたのではないのでしょうか。差別を断ち切る「行動」は、差別に「気づく」ことから生まれます。

＜皆さんの感想より＞

- そこで生まれてただけなのに差別を受けて、自分で選んだわけでもないのに人から傷つけられるようなことを言われて、本当に辛い思いでいっぱいになると思います。そんなことがないのが一番だけど、そんな思いをした人を支えていける人があふれたらいいのになと思いました。
- 生まれた場所がどこであろうと、その人らしさや人権には何も変わりありません。そのことを正しく理解できない大人にはなりたくないです。

また次の感想のように、周囲に理解や行動を求めるだけでなく、自らを俯瞰して自らの行動こそ変えていくことが大切だ、という意見もあり、素晴らしいなと思いました。

＜皆さんの感想より＞

- 正しい知識がないと、間違った考えをしてしまい、誰かを傷つけてしまうことにつながると思います。人を傷つけてしまう前に、決めつけるのではなく他の人の考えを聞いてみるなど、自分の考えを押し付けることはいけないと感じました。
- 部落差別など社会的にも問題になっている大きい差別は自分ではしないとしますが、小さな差別はしてしまうかもしれないと思い、気をつけたいと思いました。色々な考え、立場があることを理解して、私の中にある偏見を、少しずつなくしていきたいです。
- 私は、差別をしていたかもしれないけれど、そのことに気づいて間違っていることを直して、もし自分に子どもができた時には差別や人権のことをしっかりと教えていきたいと思いました。次の世代の私たちが、人権をしっかりと考える雰囲気づくりをしていきたいです。

(▶裏面へ続く)

皆さんには、観察力があり、^{しんし}真摯で、「よりよい社会」を表現できる力があると思っています。その力を、社会に出てからぜひ発揮してください。そして、偏見にとらわれず多様なものの見方ができる力（＝人権感覚）を、多様な人との出会いを通して磨き続けていってください。

＜皆さんの感想より＞

- ④ 差別は学校の授業で学んだ通り、なくしていかなければならない課題の一つと考え、自己理解を含めて、それを他者にフィードバックできるような存在をつくっていかなければならないと実感しました。
- ④ 自分の将来の夢は保育士です。だいたいの価値観・偏見などは小さいときに植え付けられると思うので、子どもたちが差別などしないよう、教えていきたいです。
- ④ 今までの人権学習を通して、自分の中での考えを育むことが出来たと思います。今日の人権学習は結婚差別についてで、そのような現状があることを初めて知りました。人権学習の機会がなければ知ることができなかつたと思います。人権学習をおこなう意義はこういうところにあると思います。今もどこかで差別や人権問題が起こっていることを知り、そのことについて理解を深めていくことが大切だと思います。

◎3年生「人権講話」おおだふれあい会館 館長様より

2月22日（水）、おおだふれあい会館（大田市隣保館）館長の中島シゲ子さんに来校していただき、ある女性の差別体験をもとに差別の現実についてお話をいただきました。「若い皆さんが一生懸命に学び、行動することで、差別は無くせる。」という力強いメッセージに対して、代表の生徒が、◇差別が身近にあるという現実を受け止めながらも、

◇全ての人の「人権」が尊重される社会を私たちがつくっていく と応えてくれました！

＜人権教育推進委員の先生からのメッセージ＞

- ◆3年学年主任：岩先生より 3年生は就職差別や結婚差別について学びました。残念ながら、社会からは差別や偏見がまだなくなつてはいません。そのような社会では差別を見抜く力と差別を許さない強さが必要になります。差別を見抜く力と強さを持ち、差別で傷ついた気持ちに寄り添う優しさも忘れず、皆さんが生きる社会を温かいものにして欲しいと思います。
- ◆舎務部長：土田先生より 小学校入学時よりこれまで、「学校」や「寮」という組織の中で、集団の一員として過ごしてきました。お互いを思いやり、全員が安心して気持ちよく過ごせることの大切さを実感してきたと思います。自分のことは自分が一番わかっていると思いがちですが、鏡で自分を映しても背中側は見えないのと同じく、周囲のみんなに自分の見えなかった部分に気づかされることもあったと思います。人を大切に、自分を大切にしてください。
- ◆黒崎校長先生より 3年生の皆さんは成人として社会に巣立っていきます。そこでは、年齢、性別、国籍等さまざまな方と出会うことでしょう。より良い人間関係を築くためのキーワードは「多様性と寛容性」です。意見が違う他人の考え方を考えるのは難しいことです。それは、「変える」と言うことに今までの自分を否定してしまうことという思いがあるからです。その場合、『も』をつけてみて下さい。例えば、こういう考え方『も』ある。それで随分気が楽になると思います。



＜この便りは持ち帰り、家庭等で「人権」について語り合うきっかけにしてください。人権教育推進スタッフ：森脇＞